

論文の音声化マニュアル: NotebookLMで学術コンテンツを 耳で学ぶ

研究論文やレポートを文字で読む時間がない方へ。GoogleのAIツール

「NotebookLM」を使えば、学術論文をポッドキャストのように聴くことができます。移動中や作業中に耳で効率的に内容を把握できる新しい学習スタイルをご紹介します。



本日のアジェンダ

NotebookLMの概要

AIノートツールの基本機能と特徴

論文の音声化手順

アップロードから音声生成までのステップ

活用テクニック

研究効率を高める実践的な使い方

代替ツールと併用法

他の音声読み上げサービスとの比較

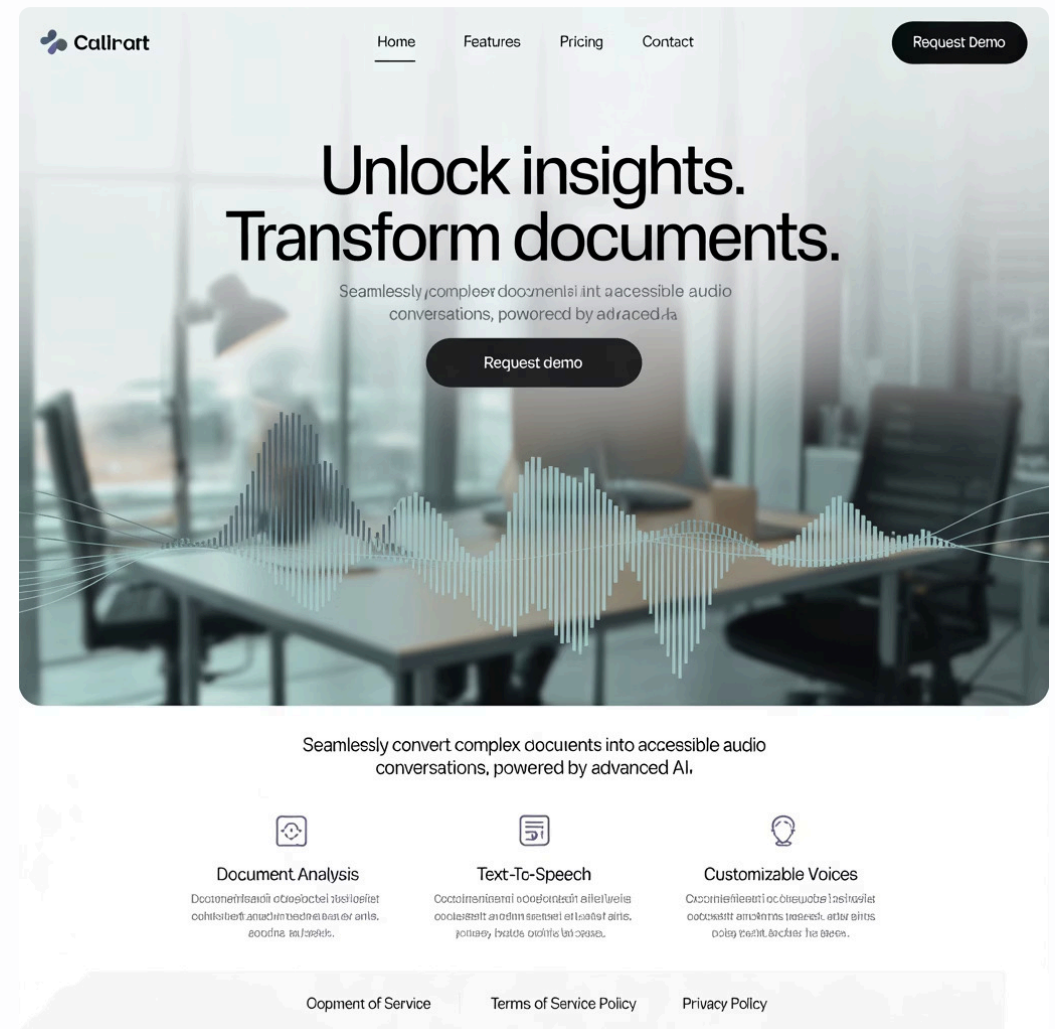
このプレゼンテーションでは、学術コンテンツを効率よく吸収するための新しい手法として、NotebookLMの音声概要機能の活用法を詳しく解説します。研究のための時間を最大限に活用したい方におすすめです。

NotebookLMとは

基本情報

- Googleが提供する実験的AIノートブック
- ユーザーが追加した資料をもとにAIと対話
- 2024年から日本語対応
- 2025年4月に「音声概要」機能追加
- 50以上の言語で音声解説が可能

現在はウェブブラウザでのみ提供され、個人のGoogleアカウントでログインして利用できます。



NotebookLMの最大の特徴は、単なる機械的な読み上げではなく、2人のAIホストが対話形式で資料内容をわかりやすく説明してくれる点です。

NotebookLMの音声概要機能の特徴



対話形式の解説

2人のAIホストが会話形式で内容を説明するため、一方的な朗読より理解しやすく、トピック間の関連づけや要点の強調も行われます。



内容の統合分析

複数の資料を一度に入れると、AIが内容を横断的に分析し、関連性を見出しながら統合的な音声解説を生成します。



カスタマイズ可能

「この論文の結論に焦点を当てて」「穏やかな教授のような口調で話して」など、要約の内容や語り口調をリクエストできます。

これらの特徴により、複雑な学術内容でも頭に入りやすく、移動中や作業中にも効率的に情報を吸収できます。

利用前の準備と注意点

必要な環境

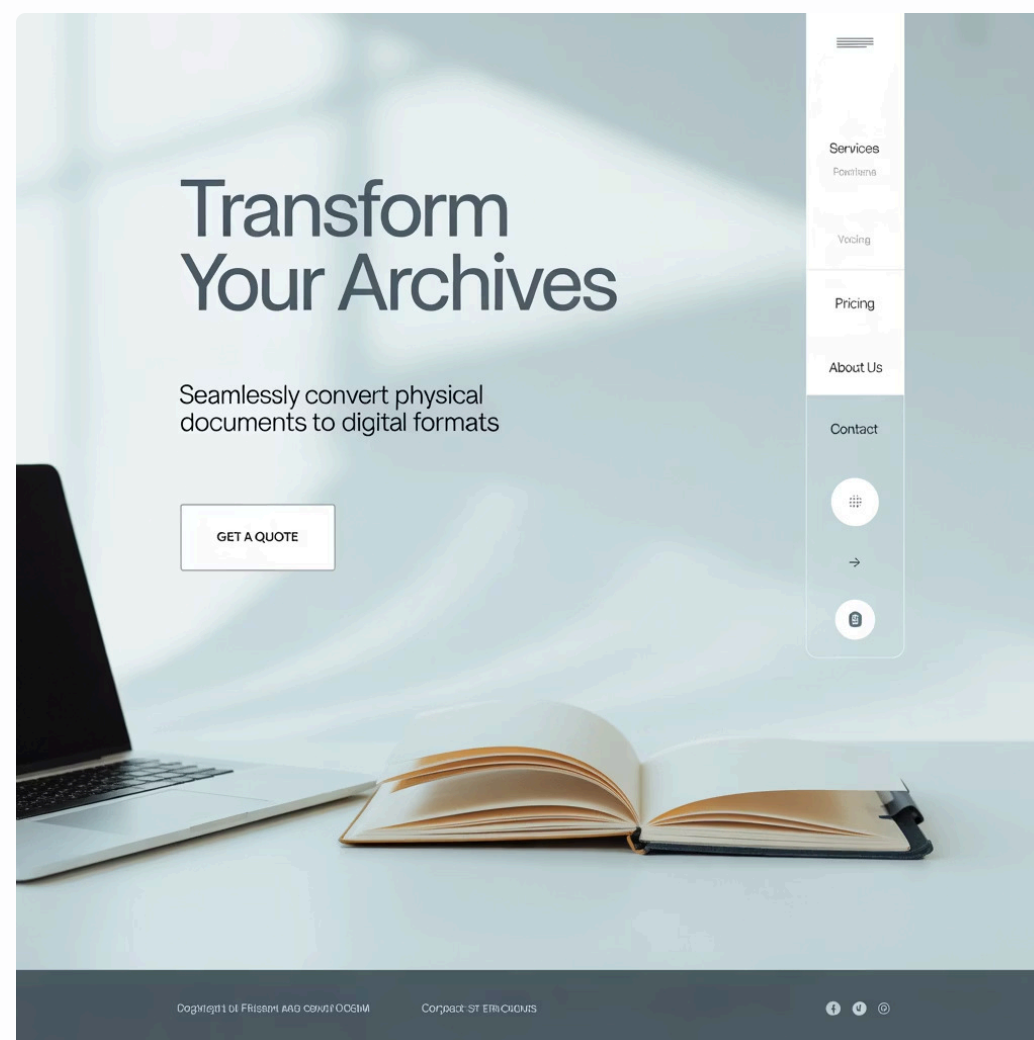
- PCの最新のChromeまたはEdge推奨
- 個人のGoogleアカウント必須
- 教育/企業向けWorkspaceアカウント非対応

準備するもの

- 音声化したいPDF論文や記事URL
- PDFはテキスト認識可能なもの推奨
- 見出しや章立てが明確な資料が望ましい

⚠ 注意点

スキャン画像だけのPDFは適切に要約できない可能性があります。また、AIによる要約のため、解釈ミスや事実誤認（ハルシネーション）が混入する可能性もあります。重要な結論や数値は必ず原文を参照して検証してください。





%

Choose File

ステップ1: NotebookLMに論文をアップロード



公式サイトにアクセス

notebooklm.google.comにアクセスし、
Googleアカウントでログインします。



新規ノートブック作成

「作成(Create)」ボタンから新しいノートブックを作成し、任意の名前（例：「論文タイトル_音声要約」）を付けます。

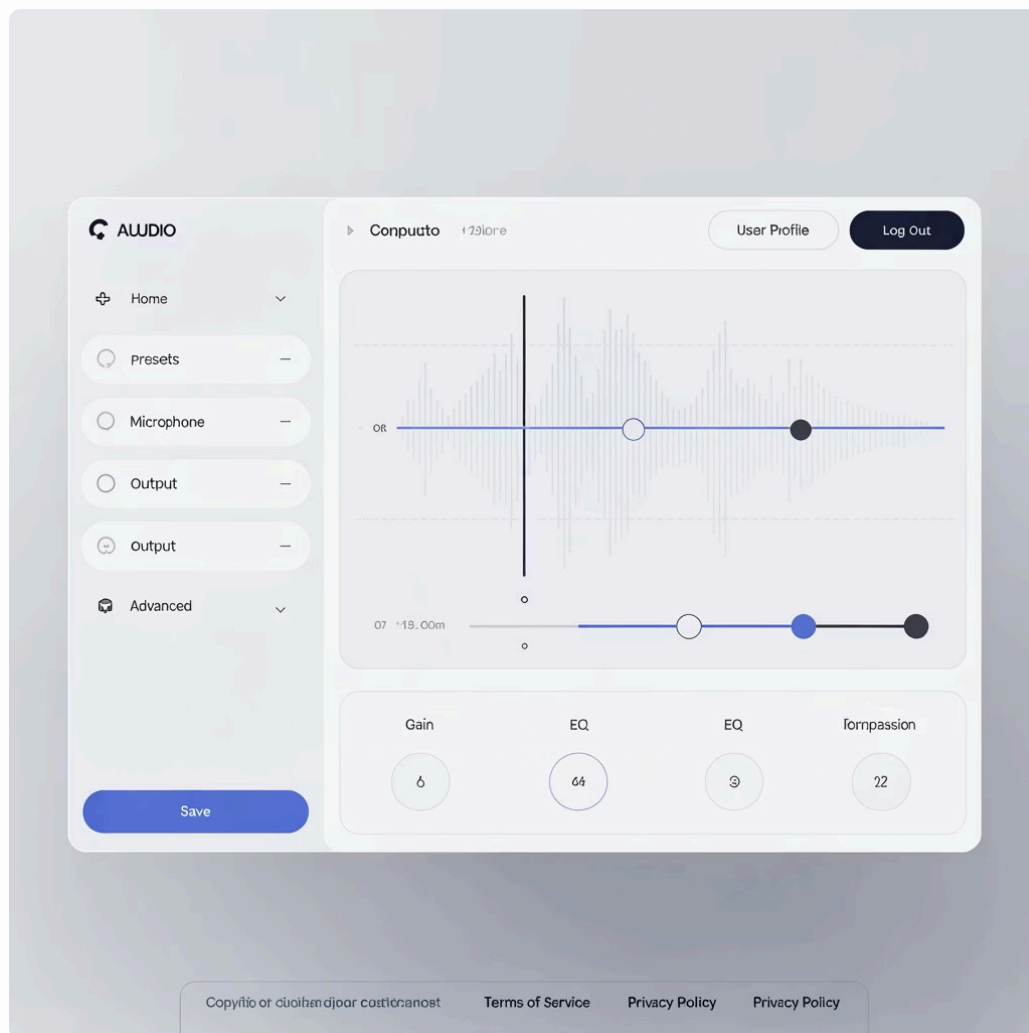


資料の追加

「Add sources（ソースを追加）」ボタンをクリックし、PDFファイルやテキスト、ウェブページのURLをアップロードします。

複数の関連資料をまとめて追加することも可能です（1ノートブックあたり最大50件のソースを登録可能）。YouTube動画のURLをソースに追加すると自動で文字起こしして要約に含めることもできます。

ステップ2: 音声概要機能の選択と要約のカスタマイズ



基本手順

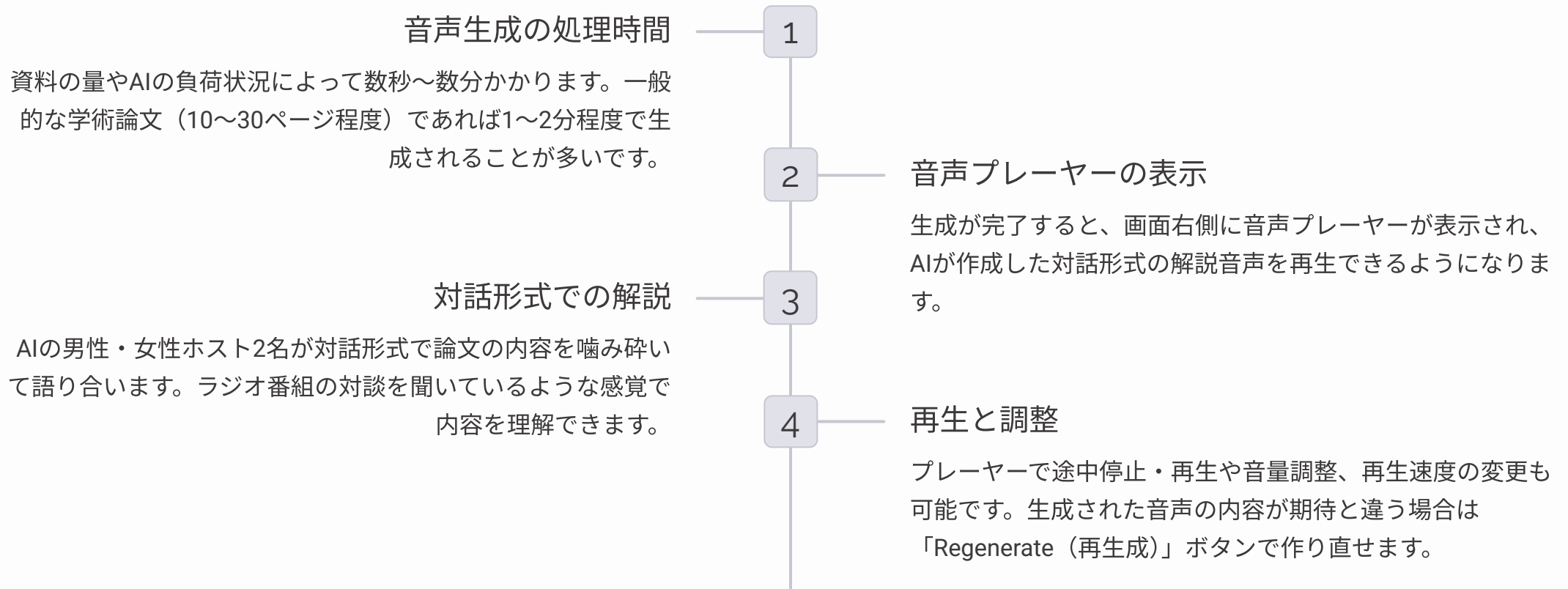
1. 画面右側の「Studio」パネルから「Audio Overview（音声概要）」を選択
2. 「Generate Overview（生成）」ボタンをクリック
3. 必要に応じて「Customize（カスタマイズ）」オプションで指示を設定

カスタマイズの例

- 「この論文の結論に焦点を当てて解説して」
- 「穏やかな教授のような口調で話して」
- 「〇〇の章を詳しく説明して」
- 「背景知識も簡単に説明して」

言語設定も変更可能です（通常は自動的に日本語音声を生成）。

ステップ3: AIによる音声要約の生成・再生



現在NotebookLMが生成する音声概要は概ね5～10分程度の長さに収まる傾向があります。主要な主張や結論、面白い点にフォーカスしたエッセンス中心の要約になっています。

ステップ4: 音声ファイルのエクスポートと活用

1

共有リンクの発行

「Share」ボタンをクリックすると、音声にアクセスできる公開リンク(URL)を取得できます。このリンクを他の人に送れば、誰でもブラウザ上で音声解説を再生できます。

※リンクにアクセス制限はなく、論文が未公開のドラフトなど機密性の高い場合は共有しないよう注意が必要です。

2

音声ファイルのダウンロード

オプションメニューから「Download（ダウンロード）」を選ぶと、音声ファイルを直接PCに保存できます。ファイル形式は通常MP3形式で出力されます。

ダウンロードした音声ファイルは、スマホに入れて通勤・通学中に聴いたり、家事の合間に流し聞きしたりできます。

3

再生設定の調整

プレーヤーのメニューから再生速度を変更することができます。例えば1.5倍速で聴けば短時間で概要を掴むことができ、0.75倍速に落としてじっくり聴き取ることも可能です。

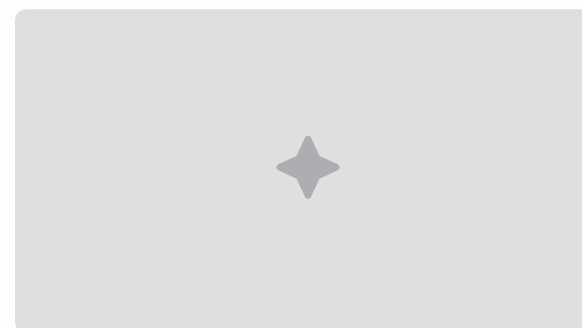
無料プランでは音声概要の生成回数は1つのノートブックにつき3件までという上限があります。4本目以降の音声を作成したい場合は、新たにノートブックを分けるか、Google OneのAI拡張「NotebookLM Plus」に加入して上限を拡大する必要があります。

補足: NotebookLM以外の音声読み上げツールの活用

NotebookLMの音声概要は論文の要点を対話形式で解説してくれるため、概要把握や俯瞰に非常に便利です。しかし場合によっては、論文全文を隅々まで音声で聴きたい場面もあるでしょう。

代替ツールの例

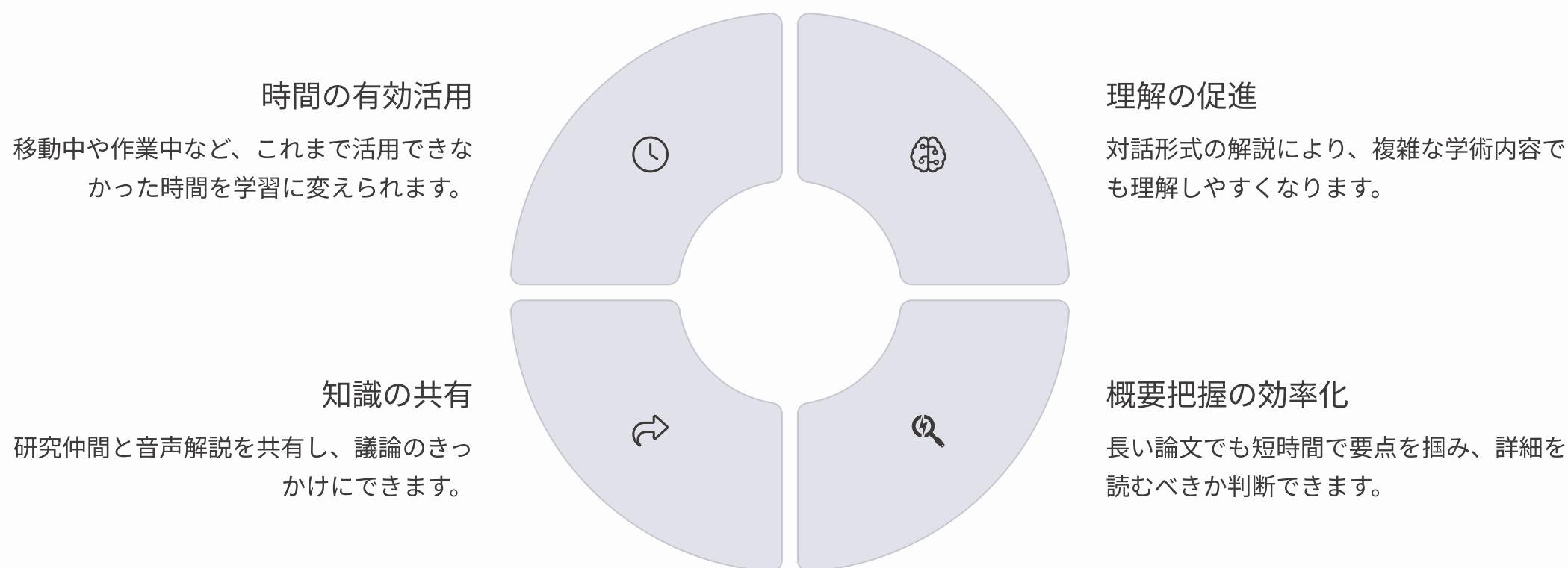
- **Speechify**: 多言語対応の自然な音声でジャーナル記事や学術論文を読み上げ
- **音読さん**: 日本語特化の無料Webツール（最大5000文字まで無料）
- **テキストトーク**: PC用の読み上げソフト
- **Read Aloud**: Chrome拡張機能



① 併用のメリット

NotebookLMで論文の概要（5分程度）を聞き、その後で「この章だけ詳しく知りたい」という部分はTTSで該当箇所を読み上げるという使い分けも効果的です。

まとめ: 「耳」で学ぶ新しい研究スタイル



NotebookLMの音声概要機能を活用すれば、論文やレポートを読む時間が取れないときでも耳から知識を吸収する新しいスタイルを実現できます。
「百読は一聞にしかず」——AIが届けてくれる音声解説で、効率的かつ楽しく学術知識をインプットしていきましょう。